



まっやま

- トライアスロン中島大会 ……10面
- 移動図書館「つばき号」巡回日程 ……4面
- 市民ガイド ……5~9面
- 中矢選手に市文化スポーツ栄誉賞 ……10面

市公式携帯サイト 無料メルマガ配信中!
松山Smile通信 検索

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 ☎934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる、わがまち松山

喜びの声



左から 武井望さん、東影喜子さん、伊藤聡美さん、永井康大さん、森田佳穂さん

高校生が17文字に熱い思いを込め戦う「第15回松山『俳句甲子園』全国大会」が、8月18・19日に市内で開催され、地元の松山東Aが決勝で3連覇を狙う開成A(東京)を破り、11年ぶり2度目の優勝を飾りました。3位は済美平成と高田A(三重)。

第15回松山「俳句甲子園」

松山東A優勝



優勝の瞬間、喜びを分かち合う松山東A

松山東A 伊藤聡美さん(3年) 自分たちらしく頑張ろうという決意で決勝に臨み、最後にはこんなにも自分たちの句が好きなんだというアピールが、チーム一丸となってできました。特に開成Aと試合をして分かったんですけれども、俳句について語るのも、詠むのも、作って見てもらうのも本当に楽しくて、一瞬一瞬、俳句をやって良かったと思えました。

史上最多の31都道府県から115チームがエントリーした今大会の全国大会には、市内4校5チームを含む36チームが出場。準決勝(準決勝・決勝は5句勝負の3勝勝ち抜け方式)は地元対決となり、松山東Aが済美平成を3勝1敗で下しました。決勝は、一昨年は1回戦、昨年は準決勝で敗れた開成Aと、兼題「日」で対戦。互角の戦いが繰り広げられる中、2勝1敗で迎えた4回目、松山東Aは「背景のなき向日葵や爆心地」それに対し開成Aは「叱られた日の草笛を強く吹く」を披露。両者、一歩も引かぬディベートが展開され



最優秀句を詠んだ佐藤さん



試合を重ねるごとに成長していった済美平成

17文字にかけた夏

ましたが、勢いのある松山東Aが勝利し、優勝を決めました。惜しくも3連覇を逃した開成Aの宇野究人さんは「負けてしまったのは悔しいけれど、俳句甲子園に言葉に対する熱い思いを残せたと思う」と涙を拭きました。会場からは両校の健闘をたたえる大きな拍手が送られました。また最優秀句には佐藤雄志さん(開成A・3年)が詠んだ「月眩しプールの底に触れてきて」が選ばれ、佐藤さんは「今はうれしい思いでいっぱいです」と笑顔を見せました。

平成24年度花壇コンクール 花いっぱい運動の一環として、コミュニティモデル花壇を対象に毎年、花壇コンクールを実施しています。本年度は気候が安定せず、花壇の管理に苦労する中、「東垣生フラワー(東垣生町)」の花壇が、花の管理の良さや配色、デザインを高く評価され、最優秀となる市長賞に選ばれました。



多くの市民に人気の松山植木まつり

まちな花と緑で いっぱい!

第105回 松山植木まつり

【日時】10月26日(金)~11月5日(月)の9~17時(最終日は16時まで)

第14回 緑化市民まつり

本年度実施のコンクール入賞者の表彰と作品の展示を行います。

【日時】表彰式 10月27日(土) 10時30分~ 作品展示(緑化推進ポスター原画コンクールとまちづくり作画コンクール)の入賞作品、花壇コンクールの入賞花壇写真パネル) 10月26日(金)~11月5日(月)の9~17時(最終日は16時まで)



市長賞に輝いた東垣生フラワーの花壇

クラブ・別府清水西公園・ふれあいサロン久万ノ台・別府花クラブ・保免西町内会・伊台瑞泉郷ガーデン・軽井沢団地町内会・古川町内会

保存してください。じつがまた お役に立ちます